

一般国道156号

大和改良 やまと (道路事業)

説明資料

令和7年10月10日

中部地方整備局
岐阜国道事務所

目 次

1. 事業概要

(1)事業目的 P 1

(2)計画概要 P 2

2. 評価の視点

(1)事業効果の発現状況

①災害に強い道路網の構築..... P 3

②交通安全性の向上..... P 4

3. 社会経済情勢の変化

幹線ネットワークの拡充 P 5

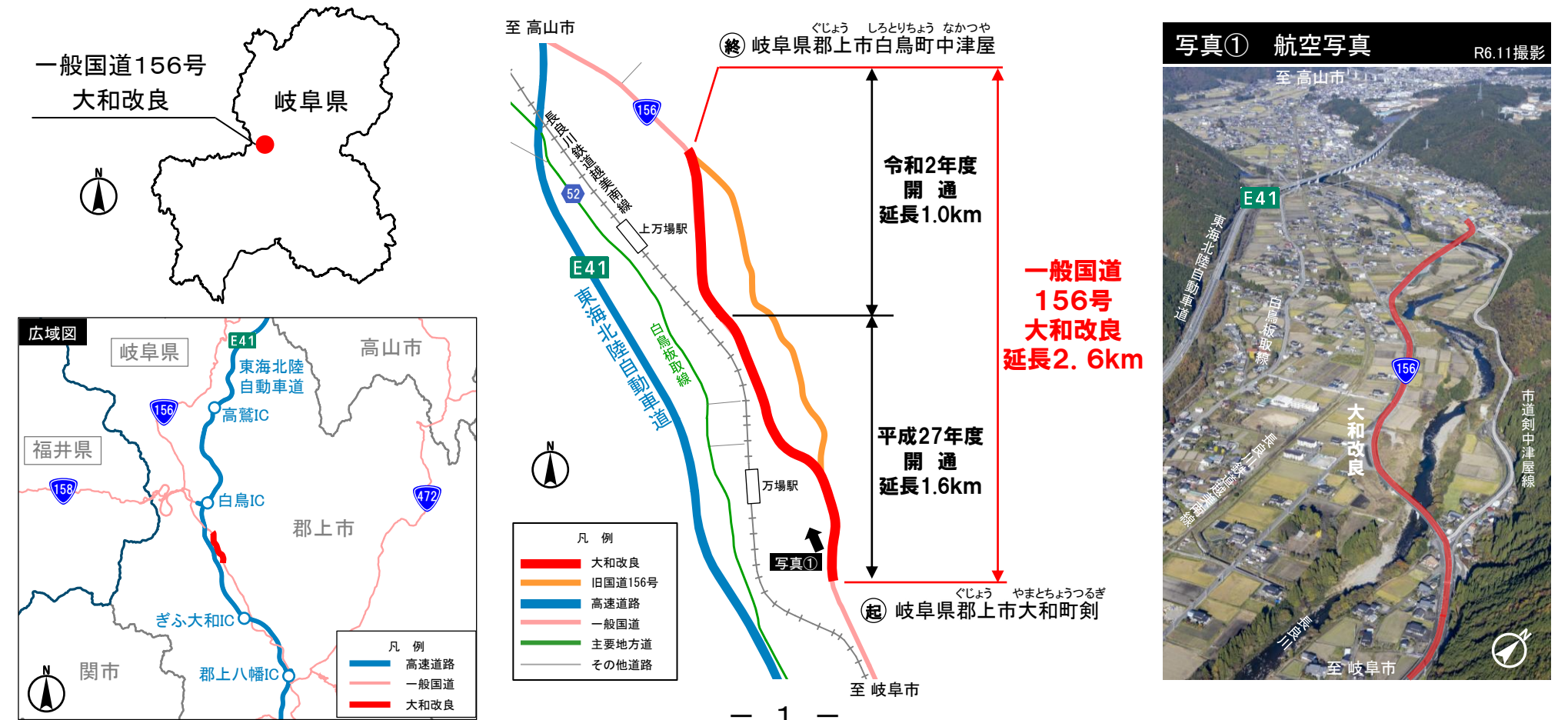
4. 対応方針(案) P 6

1. 事業概要

(1) 事業目的

- 一般国道156号は、岐阜県岐阜市を起点とし、富山県高岡市に至る延長約210kmの主要幹線道路です。
- 一般国道156号大和改良は、岐阜県郡上市大和町剣から岐阜県郡上市白鳥町中津屋に至る延長2.6kmのバイパスであり、旧国道156号の災害に強い道路網の構築、交通安全性の向上を目的とした事業で、令和2年8月に開通しました。

国道156号大和改良の全体位置図



1. 事業概要

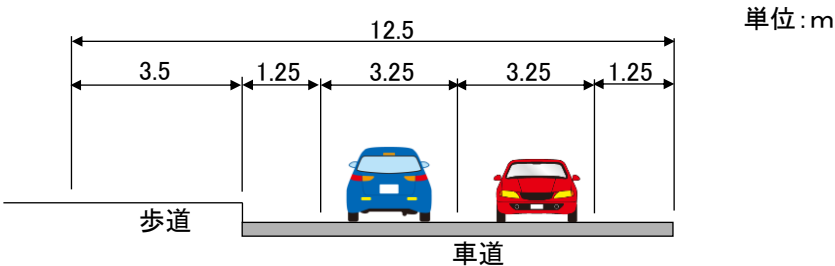
(2) 計画概要

■一般国道156号大和改良は、平成元年に事業化しており、平成27年11月に起点の岐阜県郡上市大和町剣から岐阜県郡上市大和町万場に至る延長1.6kmが開通し、令和2年8月に終点の岐阜県郡上市白鳥町中津屋に至る延長1.0kmが開通したことで、全線開通しました。

事業名	一般国道156号大和改良
延長	2.6km
道路規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
事業化	平成元年度
用地着手年度	平成13年度
工事着手年度	平成20年度
工事完成年度	令和2年度
全体事業費	81億円
計画交通量	9,500台/日



標準断面図



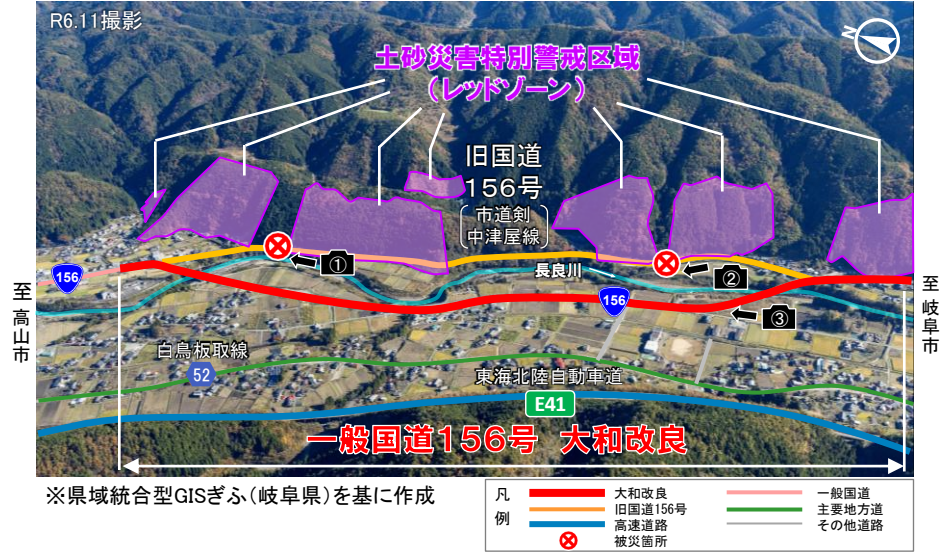
2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

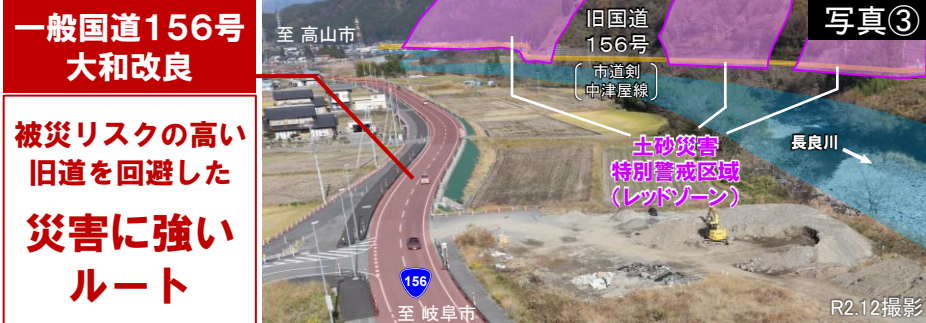
① 災害に強い道路網の構築

- 旧国道156号(市道剣中津屋線^{しどうつぎなかつや})は、土砂災害特別警戒区域に指定され斜面崩落や落石の危険性を有する山側法面と長良川に挟まれています。河川の増水による路面崩壊や土砂流出等の道路災害により、過去11回の通行止めが発生しています。
- 大和改良の開通により、被災リスクの高い旧道を回避し、災害に強い道路網を構築することができました。

●沿道における土砂災害特別警戒区域指定状況



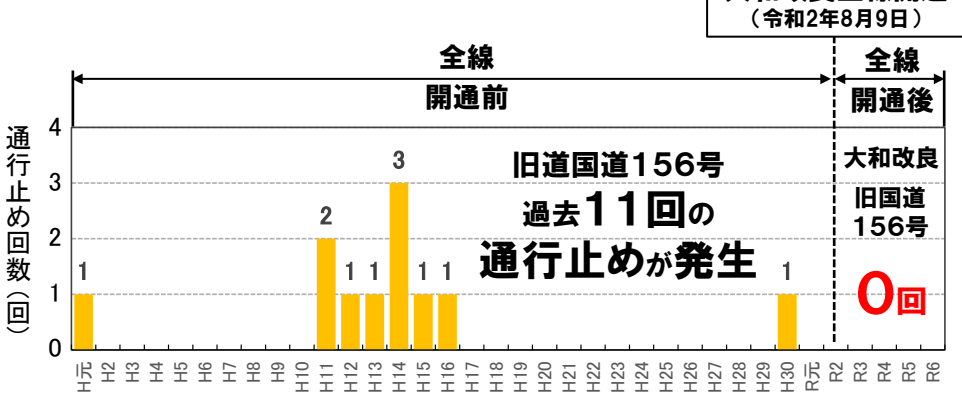
●被災リスクを回避した大和改良のルート



●旧国道156号の道路災害発生状況



●旧国道156号の通行止め回数



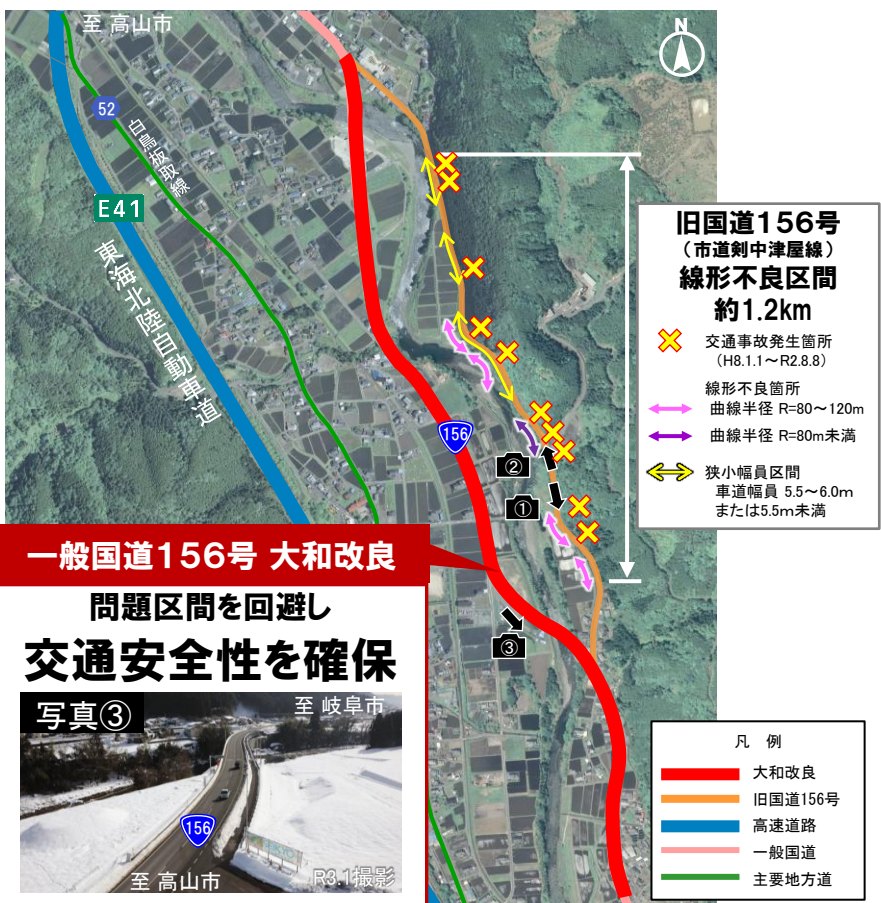
2. 評価の視点

(1) 事業効果の発現状況

②交通安全性の向上

- 旧国道156号(市道剣中津屋線)は、見通しの悪いカーブが連続する線形不良区間が存在するとともに、冬期には路面凍結や山側法面の積雪による倒木発生など交通安全性に問題があり、年間2件の頻度で交通事故が発生していました。
- 大和改良の開通により、これら問題のある区間を回避するルートが形成され、交通安全性を確保することができました。

●旧国道156号の線形不良区間と大和改良ルート

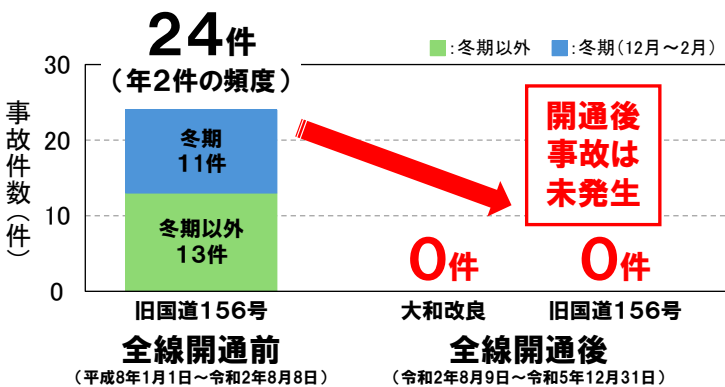


※地理院地図を基に作成

●冬期における旧国道156号の路面凍結・積雪状況



●旧国道156号の交通事故件数



出典: 交通事故統計DB(平成8年~令和2年)

交通事故情報オープンデータ(警察庁 令和2年~令和5年)

日々の通勤で、国道156号
を利用していますが
事故の危険性が少なく安心・
安全に走行できるようになっ
たと感じています。

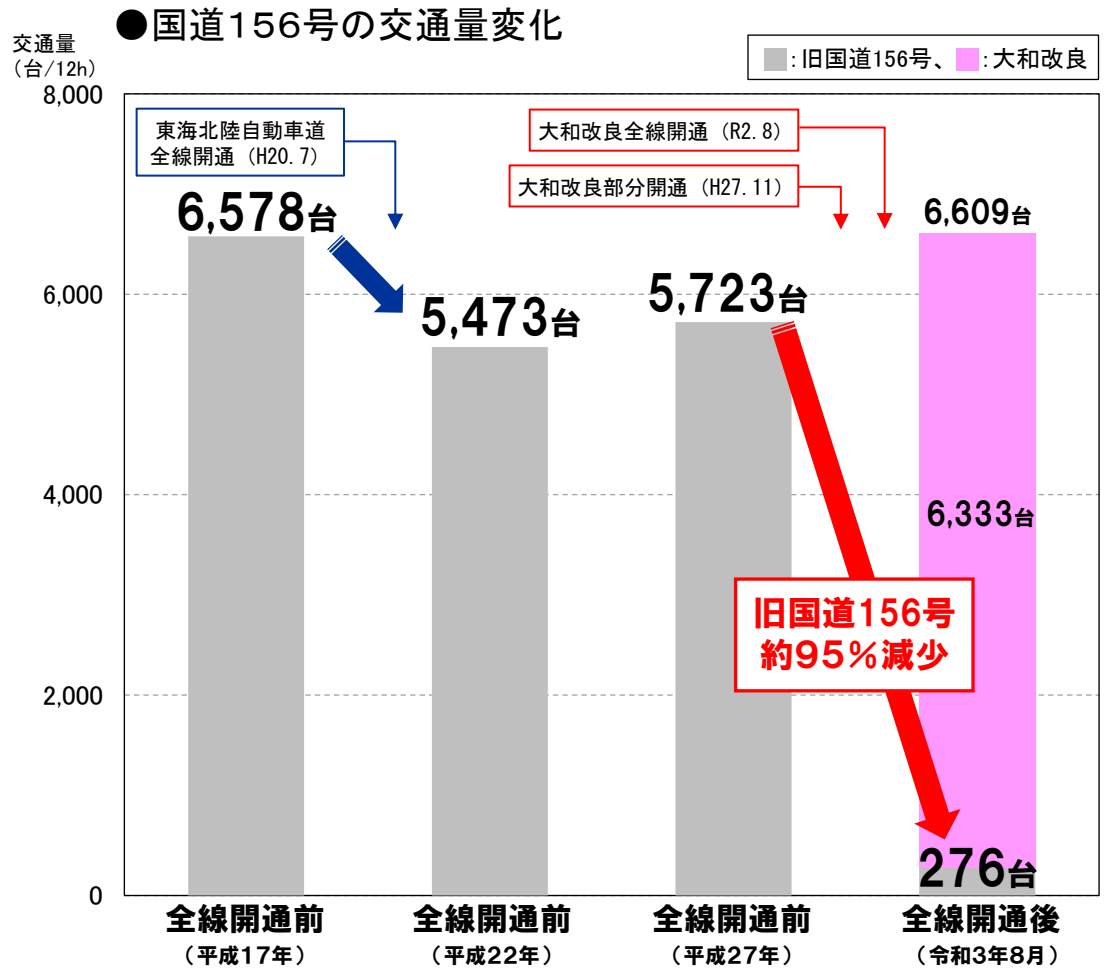
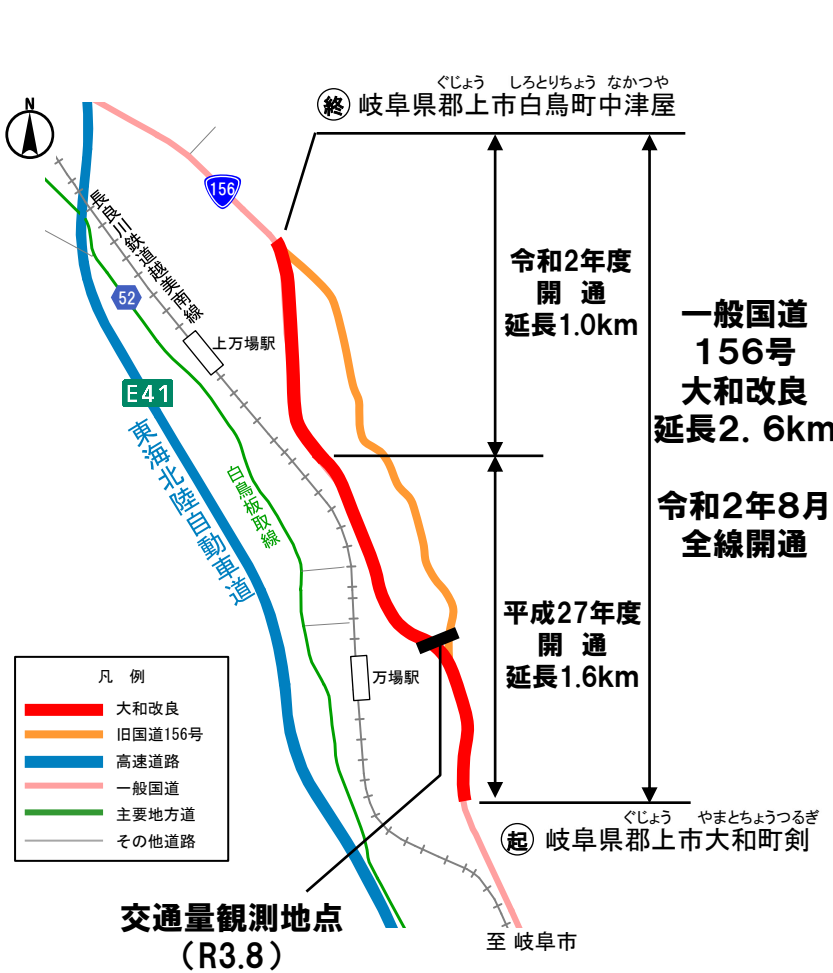


出典: WEBアンケート調査結果
(国土交通省調査 R3.8月)

3. 社会経済情勢の変化

幹線ネットワークの拡充

- 一般国道156号大和改良が開通し、幹線ネットワークの拡充が図られています。
- 大和改良の開通により、旧国道156号を走行していた交通が約9割減少し、大和改良に交通転換しました



4. 対応方針(案)

(1) 今後の事業評価の必要性

- 一般国道156号大和改良は事業が完了しており、整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

(2) 改善措置の必要性

- 一般国道156号大和改良は、整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

(3) 計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- 現時点では、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し等の必要性はないと考えます。